

まとめ

和倉温泉には心遣いの「愛」があふれていることに気がきました！



ケーブルテレビななおで体験レポートを放送するため、カメラの前で発表しました。

取材

Q:仕事で大切にしていることは？
A:お客さまの気持ちになって接客すること。どんな仕事も周りの人と協力して助け合うこと。感謝の気持ちです。



ケーブルテレビななおで市内10校の体験レポートを放送します。

■番組名 魅力発信！ふるさと七尾
■放送日 4月4日(月)～10日(日)
放送日以降も番組のリクエストができます。
申し込みは広報広聴課まで。
☎53-1130(平日9:00～14:00)



天神山小学校の収録の様子



旅館での心遣いに感動しました。多くの人に和倉温泉の魅力を伝えたいです。

和倉小学校6年 梶濱 瑠夏さん

お客さんのために、表には出ない努力や苦労がたくさんあることを知りました。



和倉小学校6年 山崎 輝彦さん

和倉温泉の旅館のことを知ってもらえる良い機会になり、うれしく思います。



加賀屋姉妹館 あえの風 副支配人 伊藤 伸也さん

インタビュー

子どもたちにとって、たくさんの魅力を発見し、その魅力を発信することで充実した体験学習になりました。体験学習の場に足を運んでみると、ノートにメモを取ったり、タブレットを使って記録写真を撮影したりと、新聞記者のように熱心に取材をしている姿が印象的でした。旅館で働く人のおもてなしや、笑顔で業務にあたる姿を目の当たりにして、「こんな働き方があるのか」と働くことへの関心や意欲にもつながる取り組みだと感じました。

ふるさと教育は、これまでも各学校で地域を探索したり、地域の文化・歴史・産業などを掘り下げて学んできました。今後、これまで取り組んできた体験学習を継承しながら、今回のような探究学習やSDGsの視点を取り入れたふるさと教育に取り組みたいと思います。



七尾市教育委員会 教育長 黒崎 直人

和倉温泉の魅力を知ろう。話そう。広げよう。

和倉温泉 魅力発見・PR隊

市は、子どもたちに地元の和倉温泉の魅力を知ってもらい、コロナ禍で打撃を受ける旅館やホテルを応援しようと、市内10校の小学6年生全員を「和倉温泉魅力発見・PR隊」の隊員に任命しました。

和倉小学校の体験レポート

和倉小学校の6年生は、あえの風で旅館の仕事を体験しました。



この取り組みは、山王小学校の6年生がSDGs（持続可能な開発目標）学習の中で、コロナ禍で宿泊客が減少した和倉温泉を応援するために「市内10校の6年生を和倉温泉に招待してはどうか」「和倉温泉で働く人を取材し、子ども目線で魅力を発信してはどうか」など提案したことを受け、ふるさと教育の一環として実現しました。児童たちは、和倉温泉の魅力を発信するために、お祭り会館で和倉温泉の歴史を学んだり、旅館で働く従業員を取材したりと、さまざまな体験をしました。

ふるさと教育

旅館の料理を味わう

地元の食材を使用して、地産地消を心掛けていることを知りました。



客室で布団を敷く体験

プロの仕事を身近で見ることができました。布団を敷く速さに驚きです。



フロントや売店で接客体験

目線や言葉遣いに注意し、笑顔で接客することを学びました。

